

除草剤の播種同日処理による草地更新技術

除草剤の播種同日処理による草地更新では、雑草処理中に牧草が発芽生育するために、牧草の生育初期の段階で雑草との競合がなく草地化することが可能である。

更新作業手順

収穫直後耕起する。



土壌改良材・肥料の散布後整地を行う。



雑草を十分に発芽発生させ除草剤の散布を行う。



播種は、散布除草剤液が乾いた後に行う。
播種後丁寧に鎮圧を実施。



初期成育状況



耕起整地は、播種予定の40日前を基準とし、雑草が十分に発芽発生し揃う期間を確保する。

除草剤は、グリホサ - ト液剤を用いる。

薬剤使用量：500ml/10a を基準とする。

(250ml/10a は1年生雑草だけの場合に限る)

希釈水量：50～100 L /10a

耕起整地は丁寧にいき、鎮圧以外の表土攪乱は避ける。